

日本臨床皮膚科医会

入会案内

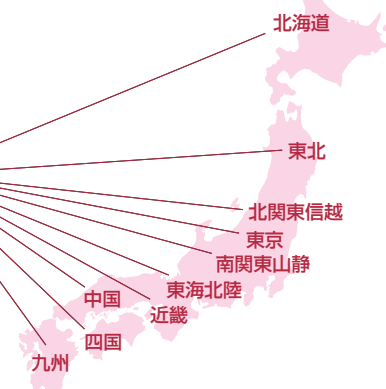


日本臨床皮膚科医会（日臨皮）は皮膚科を専門とする臨床医の集まりで、生涯学習と医療技術適正評価の実現を目的に1984年に設立されました。会員は、日頃の診療にすぐ役立つ最新の皮膚科情報・技術、保険診療上のルールに関する豊富な知識を得ることができます。全国10支部の会員は、地域の専門の皮膚科医として目ざましい活躍をしています。

●日臨皮の組織図

- 国際部
- 学術・教育部
- 地域医療部
- 医政・健保部
- 広報部
- 財務部
- 総務部

日本臨床皮膚科医会



事務局

〒102-0071
 東京都千代田区富士見2-3-2福山ビル
 TEL : 03-3221-0798 FAX : 03-3221-0756
 URL : <http://www.jocdd.org>
 e-mail : jocdd@ace.ocn.ne.jp

皮膚の日

皮膚の健康および皮膚疾患に関する正しい知識の普及と皮膚科専門医療に対する啓発を目的とし、1989年より11月12日（イイヒフ）を「皮膚の日」に制定しました。日本皮膚科学会と共催で、日本医師会、厚生労働省、NHKの後援を得て、全国各支部会員による講演会、皮膚に関する無料相談や無料検診などの事業を行っています。全国の会員のご協力で年々活動が隆盛になり、「皮膚の日」の意義が高まっています。また、毎年新しくポスターと絵はがきを作成し、会員および各地の医師会、保健所などの公共施設、各地の病院、官公庁などに配布し、「皮膚の日」を広くアピールしています。2002年からは日本皮膚科学会と共催で市民公開講座を開催しています。

「皮膚の日」ポスター



2005年



2006年



2007年



会 員

正会員は社団法人日本皮膚科学会の会員で、主として皮膚科診療に従事しており、本会の目的に賛同して入会した個人です。その他、特別会員、賛助会員があります。

入 会 の メ リ ッ ト

- 1 学術集会や会誌を通し、日常診療にすぐ役立つ最新の皮膚科情報が得られます。
- 2 医療保険や診療報酬制度の動向、保険診療上の疑義解釈など、実地に即した皮膚科保険診療の情報が得られます。
- 3 会員は、日臨皮製作のオリジナル患者用リーフレットを利用できます。
「疥癬」「アトピー性皮膚炎」「汗疱、異汗性湿疹」「ジベル薔薇色靴糠疹」など10種以上あります。
- 4 日臨皮のWebサイトに会員のリストを掲載します。また個人のホームページをリンクさせることができます。
- 5 各支部を通じ地域に密着した皮膚科診療ができます。
- 6 同じ立場の皮膚科医仲間ができ、診療の励みとなります。

入 会 方 法

入会申込書を支部長に提出します。理事会に諮られ、承認されます。入会申込書は事務局へ請求するか、日臨皮ホームページの入会手続きからプリントアウトしてください。

会費：正会員のA会員（医療機関の開設者またはこれに準ずる者）年額13,000円、B会員（A会員以外の者）年額6,000円。

おもな活動

- 「日本臨床皮膚科医会雑誌」の発行（年6回）
- 「疾患別患者用リーフレット」の発行
- 「総会・臨床学術大会」の開催

毎年1回、春に各支部が持ち回りで担当し開催されます。

「支部総会」の開催

全国各地の支部で支部総会が開催され、会員が身近なところで最新の学術情報や医療情報などに接し、研修できるようになっています。

「皮膚の日」

ポスター、絵はがきを作成配布し、全国各支部で活動を行っています。

「市民公開講座」の開催

総会・臨床学術大会や「皮膚の日」に、一般市民に広く、皮膚病の正しい情報を提供しています。

「皮膚科保険診療上の問題点の改善」

医政・健保部が中心となり、皮膚科診療の適正な評価をアピールしています。

「学校医・産業医活動の推進」

学校保健委員会が中心となり、皮膚科専門校医の実現を目指しております。

「在宅医療の推進」

在宅医療委員会が中心となり、在宅における皮膚疾患の実態調査、往診などを推進しています。

「国際的な皮膚科活動に対する協力」

ILDS（The International League of Dermatological Societies）のメンバーとして、関連学会などと情報交換をしています。

IFD（The International Foundation for Dermatology）には資金の提供を行い、海外の開発途上国での皮膚科教育に協力しています。